

特集

さあ、定年。これから どうする？

～男性たち 今こそ地域を楽しもう～

定年後に何をしようか考えたことはありますか？

特に男性は毎日遅くまで働き、家と会社の往復だけで疲れてしまい、考える余裕がないという人が多いのではないのでしょうか。定年を境に、たくさんの自由な時間ができたら、何をすればいいのかわからず戸惑ってしまっている方が多いのではないでしょうか。

清瀬市男女共同参画センター（アイレック）では、地域活動のきっかけとなるような、情報や機会を提供する「団塊世代の地域デビュー支援講座」を、公募による5名の委員と共に企画・実施しました。

今号では、この「団塊世代の地域デビュー支援講座」を中心に特集を組んでみました。現在、地域で活動されている男性たちから活動内容やきっかけ、感想などについて伺ったことも紹介しています。

誰でも皆、最初は地域新人。勇気を持って一歩踏み出して、自分から動いてみませんか。そこには充実した日々を送るためのヒントが隠されているかもしれません。

（片寄）



「団塊世代の地域デビュー支援講座(全4回)」 企画・運営委員に聞きました

質問

Q1 企画・運営委員の応募の動機やきっかけは？

Q2 活動されてから、変わったことは？



外へ目を向けよう！

Aさん (60代)

Q1 60歳で定年を迎え、再就職は考えませんでした。何かしようという目的がなくて続きませんでした。ボランティアをしてみたいという思いと、生まれ育った清瀬で何かできないかとの思いから、男女共同参画センターの運営委員（※1）に応募したことがきっかけです。

Q2 家で女房と2人でいると、お互いに細かいところに気がいつてしまう。喧嘩になりやすいので、家に

ばかりいない方がいいと思うんです。地域活動に月1〜2回参加するようになり、会社勤務と違うことがいろいろあって、勉強になっています。

新たな人間関係の種まきを

Bさん (60代)

Q1 前から男女平等について関心があり応募しました。仕事人間で地域との繋がりは希薄でした。地域デビューして、今住んでいる清瀬で新たな出会いが欲しいとも思いました。

Q2 はじめは緊張して「上から目線」だったと思います。やっと余分な力が抜けて話ができるようになりましたね。人間関係はすぐにできるものではありません。何年かかかるかわかりませんが、新たな関係の種まきをしようとしています。以前は家にいると妻からうるさ

がられていましたが、今はお互いに好きなことをして尊重し合っています。

出合いが新たな出会いを

Cさん (70代)

Q1 46年間勤務、その間のほとんどは家と会社の往復だけでした。最初は女房から勧められて男女共同参画センターの男女平等推進委員（※2）に応募しました。そのことがきっかけで、現在の企画・運営委員をしています。

Q2 企画会議を重ねる中で、今まで出会えなかった人と出会えて良かったと思います。

いつも自然体で

Dさん (50代)

Q1 もともと「清瀬の自然を守る会」で活動をしています。断らない顔つきに見えるのか、いろいろなことを人から頼まれます。地元の人間だから逃げられないと思ってこの委員会にも参加しました。

Q2 いつも自然体であるのであまり変わらないのですが、この委員になったことがきっかけで、いろいろな人と知り合いになりました。

仕事とは違う地域活動

Eさん (60代)

Q1 市報を見て応募しました。企画や運営をどうしようにするのか興味があったからです。

Q2 まだ在職中なので、進め方や効率が仕事とは違い、戸惑いがありました。しかし自分たちが話し合ったことが、目に見えてすぐ結果となって出るの嬉しいですね。会社とのメリハリがありがたい、正直ここに來ることが楽しみになっています。

※1男女平等推進の拠点施設として設置した男女共同参画センターの運営に市民の意見を反映させるための委員会

※2清瀬市男女平等推進条例に基づき男女平等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための委員会

（小松）